

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			定員に対する十分なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	6			適切に設置している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			全面バリアフリーである 今後トイレの手すりの設置を検討中
業務 改善	④	業務改善を進めるためのP D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			1か月に1回のミーティングを行い職員全員で話し合いの場を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			1年に1回の実施。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページにて公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	今後検討中
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			事業所内の勉強会、また研修に出席している
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			より多くの情報収集を心掛け 信頼関係を大切にすることにより深くニーズや課題を分析できるよう取り組んでいる
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			スタッフ全員で行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			スタッフと児童の割合は1・1～1・2 関わる時間を大切にしながら個々の発達にあわせて工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		課題は決めているものの、その日の状況や児童の体調に合わせて、無理なく柔軟な支援をしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			集団活動をしているが支援計画書の内容は個別活動中心に作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		送迎、利用者の再確認後、 注意事項や個別支援、役割分担等の申し送りを行っている。（社員中心）
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		個別支援、担当者からの報告、 また保護者からの報告を取りまとめ 必要に応じて書面、LINEにて共有している
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			支援の検証・改善に繋がるよう努めている	

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			現在、児童発達管理責任者不在の為滞っているが2月から早急に行う予定。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			児童の発達に応じて、楽しく取り組めるように組み合わせを工夫して支援している
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			現在、児童発達管理責任者不在の為滞っているが2月から早急に行う予定。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			保護者を通じて毎月学校予定表等のコピーをいただき、情報共有し、連絡調整は事業所、各車の携帯電話、またはPCメール等で行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			現在医療的ケアが必要な利用者はいないが、体制は整えてある
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		保護者から就学前の話を伺い、情報共有と相互理解に努め、支援の質を高めるよう努めている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			ご卒業後、デイから障害福祉サービス事業所等にスムーズに移行し、穏やかな時間を過ごして頂けるように出来るだけ多くの情報提供を心掛けている。 移行後も見学等に行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		連携を取り、定期的な研修を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	1日支援では児童館に行く事もあり、公園などで出来るだけ機会を設ける様、心掛けている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			モニタリングや送迎時、また電話や連絡帳等で伝え合う機会を設け、共通理解に努めている
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6			行っている。 その際は家庭と同時進行でデイでも進めていけるよう支援に努めている
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に説明している。 またお弁当などの自己負担額は毎回連絡帳にも記載している
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			相談しやすい、話しやすい雰囲気作りを心掛けると共に相談できる時間も作っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			1年に1回以上の保護者会を開催し親睦を深めて頂けるよう企画している。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			日常的に、ご意見ご要望はグループLINEにて全員周知する事とし、迅速かつ適切に対応するよう努めている。 今の所、苦情等は受けていない。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			利用者の様子や、支援内容を分かりやすく伝える為、また行事予定や変更等も定期的にお手紙で配布している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報書庫には施錠をし、日常的にも十分な注意をしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			信頼関係を築いていくように、連絡帳やお手紙のやりとりを大切に、直接お話をする時間を設けている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	2	バザー等を検討中
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			事業所スタッフは定期的にミーティングを行った際、周知徹底できるよう対応。 また、保護者へはマニュアル配布後も、追加事項や注意勧告などのお手紙を配布している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			いる。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止のためのプリントなどの観覧 また話し合いの場を設けている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			基本的に身体拘束は行っていない。 また今現在、身体拘束を有する利用者様がない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			今現在、魚卵アレルギーの児童が一入いるので、おやつ等の内容に十分注意し、全員に統一して提供していない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハットを作成し、その都度反省点と改善点を話し合っている。